

新宮山彦ぐるーぷ第1905回

## 行仙宿屋根塗装(上塗り)及びストーブ底と食事台脚改修

### 薪収納作業など

◇実施日：平成28年11月05日(土)～06日(日)

◇参加者：三井幹雄、川島 功、青木宏充、奥村順夫、竹中卓治、  
児嶋道夫(5日)、沖崎吉信、濱野兼吉、越野智子(以上  
6日)、尾崎真由(5日同宿)。  
計10名。

三井さんから下塗りの経験からペンキ・硬化剤・シンナーの混合は、とにかく良く混ぜる必要があります、今回は攪拌機持参でお手伝いするとの有難い申出があり、(株)齊藤鐵工所からの参加が数人あると思いましたが、多忙で三井さんだけの事。又、宿泊参加者が三井・川島と5日帰りを六日に変更して頂いた梶野氏の3人の申込であり、何とか二日で塗れそうだが、6日の参加者を募る要請を事務局・沖崎氏にお願いした。

が、海山・尾鷲の奥村、竹中氏が急遽参加の電話があり、屋根塗装が完遂できる見通しになり安堵し、事務局へ電話連絡したが通じず。

前日に事務局から宿泊組に青木氏(夕食3人分の指示)と5日に児嶋氏がストーブ底に網入り耐火コンクリート板の追加設置と6日に沖崎・濱野氏の2人が参加する事になったとの事。

宿泊者が5名となり、川島は家で「おでん4人分調理」と刺身、さとうの御飯等、尾鷲組には朝食の魚干物調達をお願いする。

11月05日 快晴

5日の宿泊組は、行案内した行仙宿登山口13時半集合予定。

2日から晴天が続き行仙宿の水場が心配になり、登山口から水をモノレールで上げて運ぶ必要があると判断して、早めに出発する。登山口には児嶋・青木車が駐車済。

モノレールで夕食・朝食等食材を揚げ、担ぎ歩き出すと第二ベ  
ンチ手前で、昨夜持経宿にお世話になったと言う桃崎さんと会話  
する、浦向へと下山されるそうだ。

澄み切った青空の下での、黄・赤褐色に色づいた紅葉の山並み  
は見応えがある。

行仙宿に11時半着。宿内には、青木・児嶋氏以外に女性1名  
が食事休憩中である。

青木氏は、笹刈り作業で楊子ノ宿に宿泊した際、柏木から大峯  
縦走中の女性(大学生・尾崎さん)と同泊し、女性は歩いて持経宿  
泊、青木氏は旭口へ下山し、食料を調達し昨夜行仙宿泊。

女性は持経宿から先程到着し、午後から作業を手伝い今夜同宿  
とのこと。

児嶋氏は、ストーブ底鉄板の反りと熱劣化防止に、網入り耐火  
セメント板を鉄板下に設置する作業をされていた。

昨日、テント泊の女性3人組は、水場で水汲みして来たとの事、  
水が汲めるんだ。

しばらく休憩後、登山口水場から7Lポリタン3個分の水汲み  
と後続者出迎えにモノレール始点へ下りる。



ストーブ改修中



行仙宿着後の休憩



屋根の落葉掃き落す

13時前に三井車が到着、水を汲んで沸かしてどん平うどんと

弁当で昼食。程なく、奥村車も到着。

4人でモノレール終点へ。各自の荷に水(三井・竹中・川島)を担当行仙宿へ。児嶋さんの作業は略終了していた。

コーヒード小休止後、ペンキ塗りに屋根に上がると落葉が全面に落ちている。まず命綱用のメインロープを屋根上に張り、各自命綱を掴み等で落葉を掃き落す。

とりあえず、玄関屋根を塗る分だけの塗料調合を三井さんお願います。発電機を廻して、攪拌機で上塗り塗料(ポリウレタン)と硬化剤及びシンナーを良く混合された。

その間、児嶋さんは、水汲み後下山される事になり、モノレールを駐機場に下ろして頂いた。

又、青木氏と女性の尾崎さんは、水汲みと屋外で乾燥させた薪を手箕で薪棚に収納する作業をされる。

波板ロール刷毛との事で購入して来たとの事であるが、径の太い平ロール刷毛であり、力を加えないと塗れない様だ。前回の波形ロールを2本確認したので、宿内へ戻り捜すが何処へ行ったのか見つからない(翌朝荷物整理で見つかる)。径の太い平ロールで塗るしかない。

三井・竹中氏がロール刷毛、奥村・川島は普通刷毛でロール刷毛では塗りにくい箇所を塗る。



玄関屋根塗装作業中

ストーブの焚付を伝授

玄関屋根を塗り終え、本屋根を少し塗った時点で調合塗料が無くなり、16時前に本日の作業終了。

青木さんと尾崎さんが、夕食準備をして下さり、水炊き・おでん・刺身盛合せの豪華な夕食となる。又、青木さん銀杏を焼くが、大きなはじける音、でも食塩味の銀杏が美味しい。

いろんな話題の談笑が続く。白い御飯が欲しいとの事から、「サトウの御飯」をチンするため、発電機を廻すが、どうした訳か始動出来ない。仕方なく煮沸したお湯で御飯に戻す。



夕食懇談中



タイガー帽でお休み！

延々と懇談が続いたが21時に消灯。

夜半は、かなりの風が吹いた。この状態だと屋根に夜露が付かないだろうと・・深い眠りに。

### 行動タイム

10:45 行仙登山口→11:30 行仙宿 11:45→12:20 登山口(三井車)  
12:45着、奥村車 12:55着(13:15→13:45 行仙宿→14:15 作業 15:50  
→16:05 夕食→21:00 消灯。

11月06(日) 快晴。朝気温10℃

尾崎さんは5時起床、青木氏朝食調理。6時20分単独で玉置神社へ。

皆も起きて夜明けのコーヒー、炭火で干物を焼く。さて御飯は、やはり発電機が始動出来ないので煮沸して御飯に戻す。

8時前から、屋根塗装作業へ。青木氏は、夕食・朝食の後始末。風が吹いたので放射冷却も無く夜露は無いが、再び屋根に落葉が・・・また掃き落とし。平ロール刷毛も使っている内に波型になり、幾分か塗りやすくなる。

下塗りは1斗缶の容量では相当足りなかったため、上塗り塗料1斗缶の容量で全面塗れるだろうか・・・。



山ガール出発！



宿屋根塗装作業中



約7割がた塗れた9時過ぎにコーヒーで小休止。

9時20分頃、日帰り組(沖崎・濱野・梶野)が女性を含め4人登って来る。女性は、飛び入りの会友・越野さんだ。

越野さんは、No.21鉄塔下辺りのヒメシヤラ等の雑木薪材を運んで下さる。

梶野氏に、発電機が始動出来ないのので診て欲しいと頼むと、何もせずに発電機が始動したとのこと。人を見るのかなあ・・・。梶野氏は、ロール刷毛に長い柄を付けることを勧めたので作業がやり易くなる。端を塗り終えたので命綱・メーンロープを回収。

一人降り、二人降りして塗り終えは、三井さんに任せる。塗れるか心配したが、1斗缶の容量で全屋根を塗ることが出来た。

下塗りにより表面の凹凸が無くなりペンキの延びが良くなり、何よりも攪拌機による塗料の完全な混合調合に因るのである。少し余ったペンキで北側の破風板を塗り、11時前に屋根塗装(上塗り)は完了した。下塗り・上塗りによるペンキ塗替えをしたので、今迄よりも屋根は長持ちすることだろう。



長い柄のロール刷毛にして塗る

破風板にもペンキ塗る

沖崎氏は、チェーンソーの始動点検など。



食事台の止め金具をステー金具に取替作業

梶野氏は、既存の食事台の脚止め金具が外れ易く不安定なので、

市販のステー金具に取替のため、ドリルを使ってアルミ脚に穴を明け、安定した折畳み食事台に改修して下さる。

三井・越野・濱野氏が、水場に下りたが、貯まり場に水があるが落葉が多く、水が汲めなかったと戻って来る。次回に備えて水場の底浚えをする指示したら良かったと少し悔やむ。



上塗り終えた屋根



作業後の昼食懇談中



本行事への参加者

日帰り組が、調達し持上げて頂いた弁当で昼食。

尚、昼食前に竹中氏が、昼食の間に越野さんが行仙岳へ登頂。下山前に掃除機で掃除する為、梶野氏発電機を始動させるが、先刻始動したのに発電機が始動しない。やはり、おかしい・・・正常とは言えない。来週、青木氏主催の懇親会があるので来てプラグ等点検すること。

戸締りをして、不用品を持ち13時前に全員下山。

登山口で作業を労い、遠方からの三井車を見送り、13時25分流れ解散にして各自帰路へ。

### 行動タイム

起床 6:00、朝食 6:45→7:50 塗装作業→9:00 休憩 9:40→塗装作業 11:00→11:45 昼食→行仙宿 12:55→13:20 登三口 13:25→帰路。

最後に、(株)斎藤鐵工所様から下塗り塗料及び上塗り塗料の寄贈。又、ペンキ調合方法もご教示頂き、お陰で行仙宿の屋根塗替え作業が終えることが出来ましたことに、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

(記 川島)